とちまり

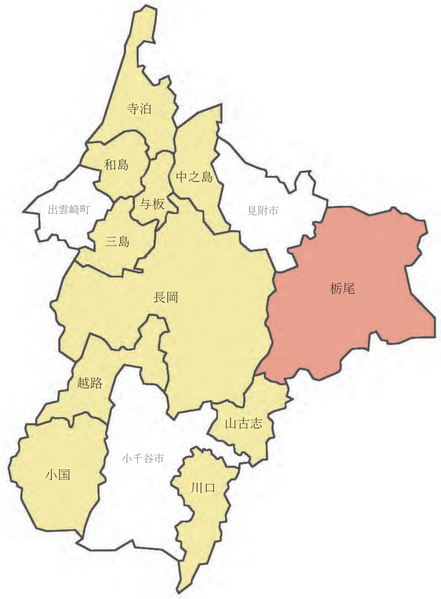
- 栃尾てまりを継承する地域の拠りどころ -

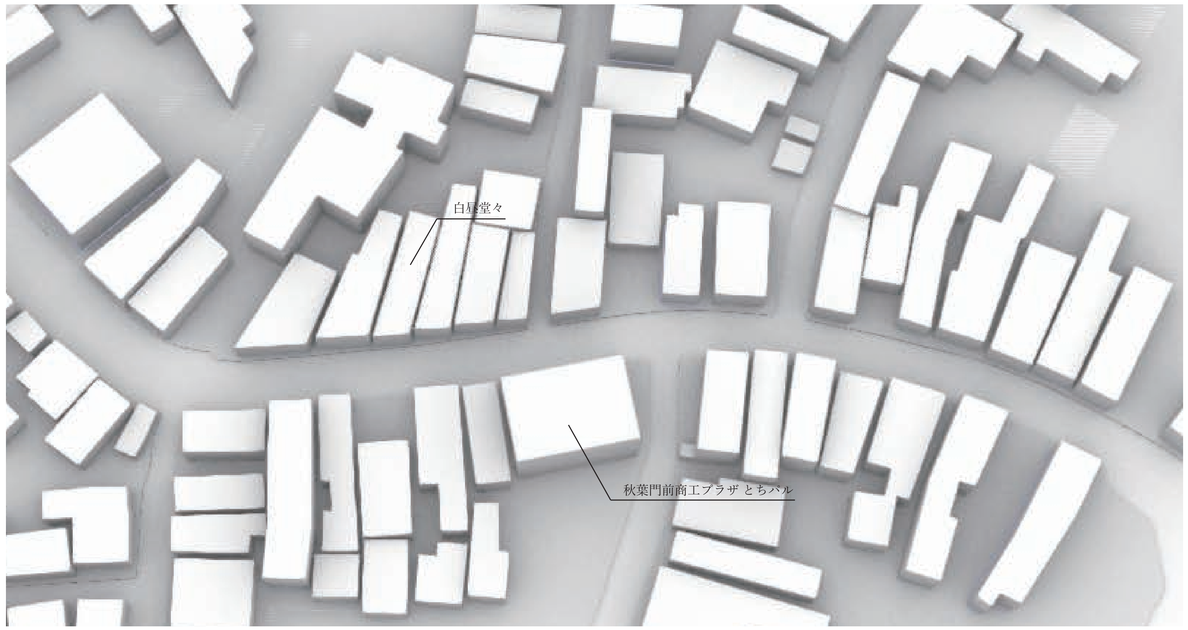
色鮮やかな糸で四季の美しさを表現する「栃尾てまり」。
日本３位の長さを誇る雁木造りの通りにある「秋葉門前商工プラザ　とちバル」。
今は賑わいを見せることが無いこの２つ。
少しだけでも賑わいを取り戻す事が出来ないだろうか。
22 年栃尾にいたからこそ次の世代に伝えたい、思い。
この提案を通して何か伝えられることはあるだろうか。

長岡市　栃尾地域

栃尾は、新潟県長岡市北東に存在する地域であり、
2006 年に長岡市に合併した。

栃尾は古くから養蚕・機織りや染色の産業を行い、栃尾紬の産地
として広く知られていた。
また、栃尾という地名がブランド化して定着した商品が「油揚げ」、
栃尾の人には「あぶらげ」とよばれている。特徴は、通常の厚みと
長さが違う。現在、栃尾地域には 16 店舗ある。





谷内通り商店街の歴史

旧栃尾市の中心商店街　谷内通り。
1970 年ころは、約 600 の店が軒を連ね、大変賑わっていた。
だが徐々に店も人も減っていき、今では 20 軒ほどに。
最近では、白昼堂々で若者が中心となり、イベントの企画など少しでも賑わいを取り戻そうとする動きが見られるようになった。

それでも、思い出の場所であり、人を思いやって出来た通りである。

とちパルの現状

鉄筋コンクリート造、築 46 年の建物。

2014 年に前身の長岡信用金庫から、地元の人の癒しの場所となるような「地元の道の駅」になるようにと
願いを込めてリニューアルされた、とちパル。
リニューアルから 7 年ほどしか経っていないが、前身の堅さが残っており、特に賑わっている様子はなくガランとしているため、
店内に入りにくい雰囲気がある。
また、客層の半数以上が高齢者であるため、若者たちが集う場所ではないと思われている。

日本のてまりの歴史

日本古来のてまりの起源は、今からおおよそ 1400 年前飛鳥時代までさかのぼる。
中国から渡来し鹿革でつくられていた。その頃は貴族の人たちの「けまり」という遊戯に使われていた。
足ではね上げていた蹴鞠は、次第に空に投げ上げて遊ぶことになり、「けまり」から「てまり」に移行したようで、これが大衆化したのは室町時代。
江戸時代に入ると、一般家庭の幼い子どもの玩具として祖母や母親好んで作り、広まるようになった。
昔ながらのてまりは、さまざまな歌とともに伝えられているが、環境の変化によってだんだん忘れられていく状況を危惧し、1979 年に「日本てまりの会」が創立された。

現在、てまりは全国に 9 県でつくられている。
以前はその中で、新潟県を含む 3 県が繊維の産地であった。
今は化学繊維が多く使われているが、前は自然の色糸が使われていた。また蚕や繭は、山と川に囲まれた自然豊かな所で多く採れていた。

栃尾てまりの始まりと特徴

栃尾てまりの始まりは、今から 1500 年ほどさかのぼった弥生時代。越後産地の中で最も古い歴史を持つ絹織物の栃尾紬。
栃尾てまりはその残り糸で作ったと言われている。

伝統のてまり作りを後世に残し伝える事を目的に、1986 年に「栃尾てまりの会」が発足した。だが、目立った活動は毎年 5 月に行われる「てまり祭」のみ。活動も細々とやっており、活動拠点も転々としているため、私たち市民が活動を目にする機会があまりにも少ない。また、てまりに限らず多くの伝統工芸は、とっつきにくく堅いイメージを持たれやすいため、新しい世代へ受け継がれる機会が少なくなっている。

栃尾てまりは、ハトムギや銀杏など 7 種類の種が中心に入っている。これは全国のてまりの中でも栃尾だけの特徴だ。このことを広く伝えられる場所が必要なのではと考える。

日本のてまり

弥生
- 養蚕が盛ん
- 絹織物の栃尾紬

飛鳥
- 中国から渡来
- 材料は鹿革

- 貴族たちの蹴鞠として使われていた

平安

鎌倉
- 鶴岡八幡宮や平安神宮で蹴鞠の会が催される

室町
- 鞠の遊び方が変化
- 蹴る→投げる

蹴鞠から手まりへ変化

- 手まりが大衆化した

江戸
- 手まりについての俳句や詩が詠まれる
- 栃尾紬が農家の副業として栃尾地域全域で生産される
- 一般庶民の家庭で幼い子供の玩具として広まる
- 栃尾紬が全国に広まる
- 女の子の遊びとして広く普及

明治～昭和
- 文明開化によりゴムまりが輸入される

手まりが日本全国で急激に衰退

- 織物・ニットの出荷率が下降
- 「日本手まりの会」創立
- 「栃尾手まりの会」が発足
- 絹糸から化学繊維に変わる

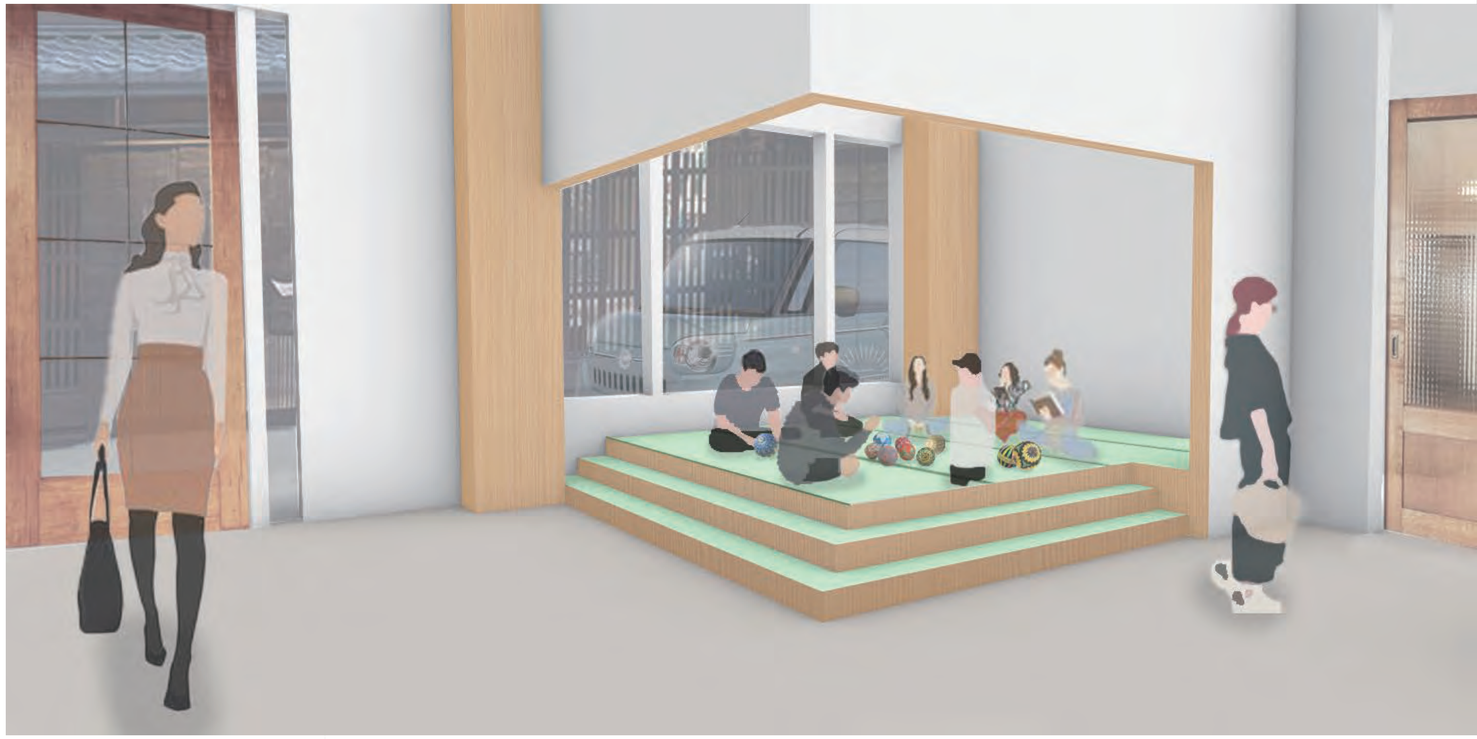
現在
- 「伝承手まり」「創作手まり」になる

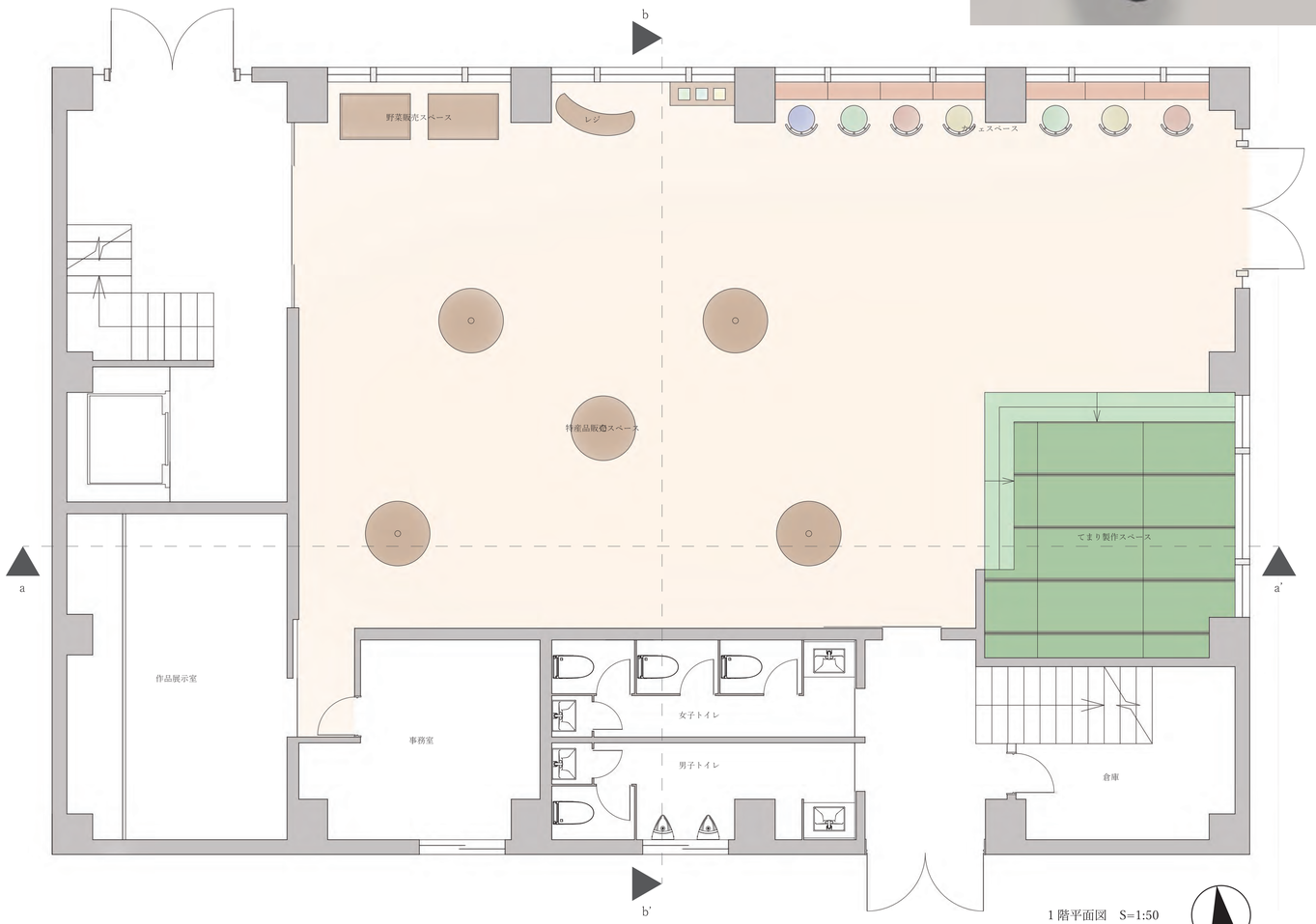
栃尾てまり

「栃尾」のこと「てまり」のことを知る場所に

1階部分には、特産品販売・カフェ・てまり製作スペースを配置。

てまり製作スペースは、てまりを身近に感じてもらえるよう、通りから見えやすいように
開けた空間にした。





1階平面図　S=1:50

S=1:10

モチーフはてまり。

天井がミラーになっているため、自分がてまりに囲まれているような空間に。